

平成28年3月期
決算説明会資料

平成28年6月10日



(東証二部 9857)

企業概要	・・・	P.3
平成28年3月期 連結決算概要	・・・	P.7
平成29年3月期 連結計画	・・・	P.17
中期3カ年経営計画	・・・	P.20
営業施策 注力商品	・・・	P.25
参考資料	・・・	P.31

企業概要

企業概要(平成28年3月31日現在)

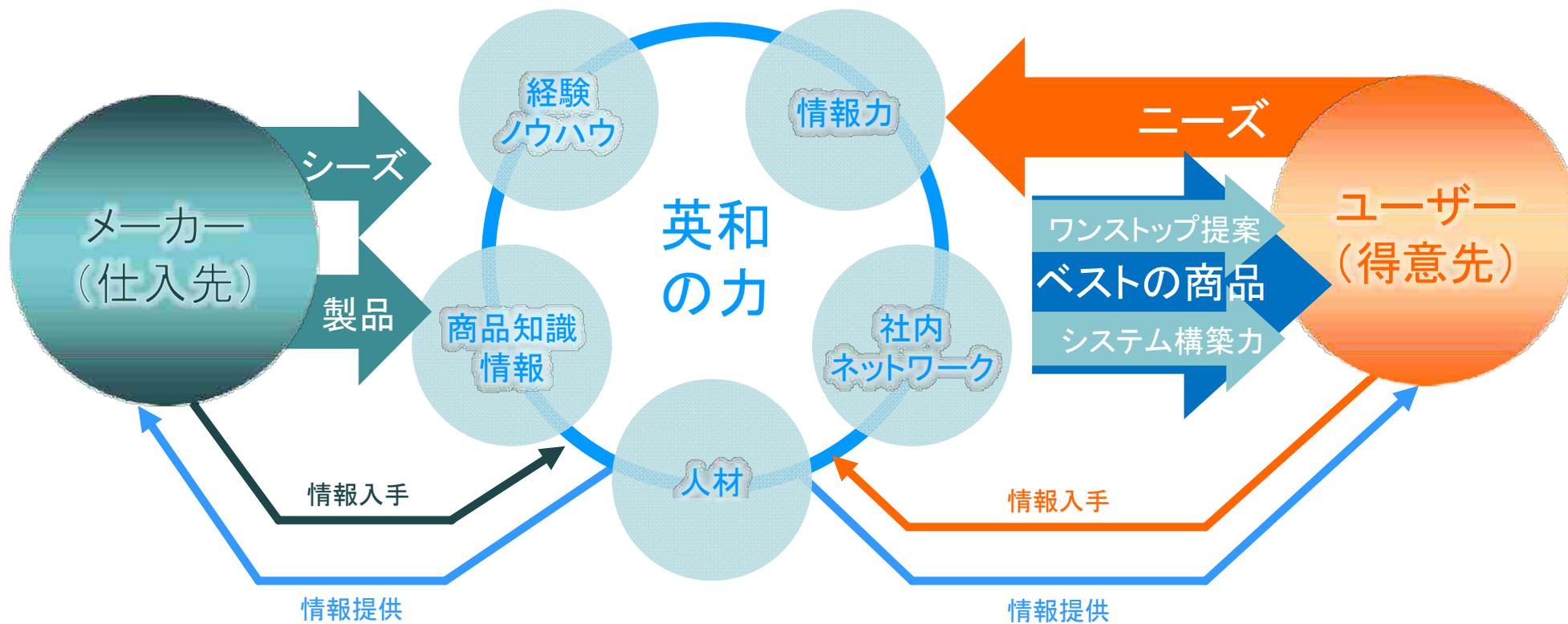
商号	英和株式会社(EIWA CORPORATION)
創業	昭和22年6月15日
代表取締役社長	阿部 健治
本社所在地	大阪府大阪市西区北堀江四丁目1番7号 東京都品川区西五反田一丁目31番1号(日本生命五反田ビル10階)
資本金	15億3340万円
連結従業員	292名
上場市場	東京証券取引所 市場第二部(証券コード:9857)
国内営業拠点	35カ所
連結子会社	3社:双葉テック(株)、東武機器(株)、 英和双合儀器商貿(上海)有限公司
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ◆工業用計測制御機器、環境計測・分析機器、測定・検査機器、産業機械の販売 ◆以上の物の輸出入代理業務、仲立業、賃貸業、古物売買業 ◆上記製品にかかわる施工、修理業務

あらゆる業界に、4分野の商品を幅広く展開



ビジネスモデル

- ◆ “はかる”ことであらゆる産業に貢献する技術総合商社
- ◆ 独立系商社ゆえ系列の枠を超えた自由な商品提案が可能
- ◆ ユーザーニーズを理解し、常に最適なあらゆるシステム・商品・サービスをワンストップで提供



平成28年3月期 連結決算概要

(単位:百万円)	平成27年 3月期	平成28年 3月期	前期比	平成28年 3月期	計画比
	実績	実績	増減率	計画	達成率
売上高	34,338	32,510	▲ 5.3%	35,000	92.9%
営業利益	1,008	900	▲ 10.7%	1,030	87.4%
経常利益	1,030	909	▲ 11.8%	1,030	88.3%
親会社株主に帰属する 当期純利益	584	520	▲ 10.9%	584	89.1%
1株当たり利益(円)	92.35	82.25	▲ 10.9%	—	—
総資産	21,758	21,269	▲ 2.2%	—	—
純資産	7,754	8,005	+ 3.2%	—	—
自己資本比率(%)	35.6	37.6	+ 2.0	—	—

決算の概況

- 建設業や鉄鋼製品製造業向け各種車両・産業機械、舶用機器製造業や電力供給業向け計測制御機器等の販売が堅調に推移したものの、前年度業績を牽引したメガソーラー関連付帯機器や災害対策用特殊車両の売上減に加え、化学品製造業、機械製造業、プラント・エンジニアリング他国内業界全般的に設備投資が低調で、前期比減収減益となりました。

(単位:百万円)

	平成26年3月期		平成27年3月期			平成28年3月期		
	実績	構成比	実績	構成比	前期比	実績	構成比	前期比
工業用計測制御機器	15,846	52.0%	16,312	47.5%	+ 2.9%	15,760	48.5%	▲ 3.4%
環境計測・分析機器	2,529	8.3%	2,517	7.3%	▲ 0.5%	2,455	7.6%	▲ 2.5%
測定・検査機器	1,812	6.0%	1,762	5.2%	▲ 2.8%	1,705	5.2%	▲ 3.3%
産業機械	10,257	33.7%	13,746	40.0%	+ 34.0%	12,589	38.7%	▲ 8.4%
合計	30,446	100.0%	34,338	100.0%	+ 12.8%	32,510	100.0%	▲ 5.3%

工業用計測制御機器

産業技術の基本となる計測制御技術を
安全性・信頼性で支える。

- ◆工業用センサー
- ◆制御機器
- ◆受信機器
- ◆情報通信・変換機器

取扱い商品一例

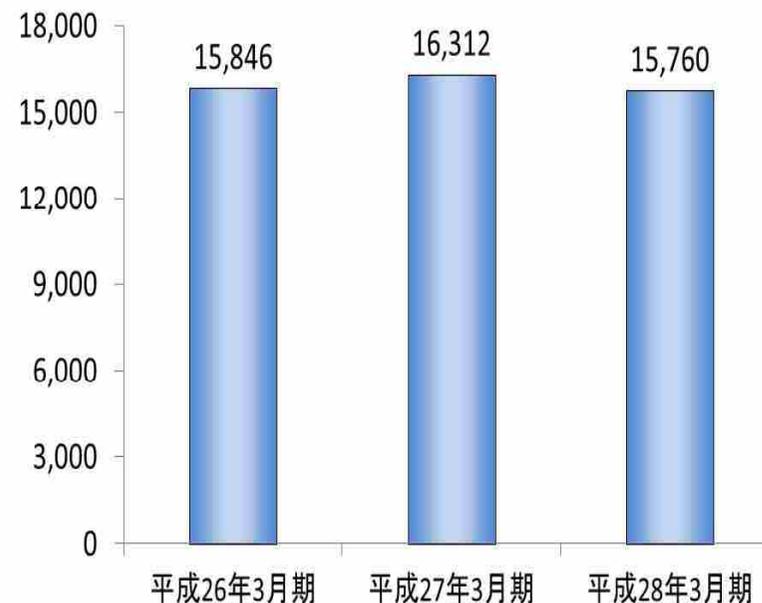


電波レベル計



記録計

(単位:百万円)



【増減理由】

船用業界向けディーゼルエンジン用各種センサーの販売や、火力発電所向け液面センサー更新の販売が増加しましたが、プラント建設案件の減少や公共インフラ案件を中心に設備投資が低調で、前期比3.4%減となりました。

環境計測・分析機器

『事業活動を通じ地球環境保全に貢献し社会的責任を果たす』を重点テーマに、ユーザーの環境改善対策に貢献。

- ◆水質・ガス・大気分析機器
- ◆気象観測機器
- ◆振動・騒音・臭気測定機器

取扱い商品一例



複合ガス検知器



地震計

(単位:百万円)



【増減理由】

環境配慮型水質管理機器の更新案件や、鉄鋼業界において大気・ガス分析計の販売が堅調に推移しましたが、前年のような大型定期修繕による設備更新が一巡した為、前期比2.5%減となりました。

測定・検査機器

研究開発や製品の検査を
確かな品質でサポート。

- ◆形状検査・試験機器
- ◆非破壊検査・試験機器
- ◆材料検査・試験機器
- ◆電力監視機器・システム

取扱い商品一例

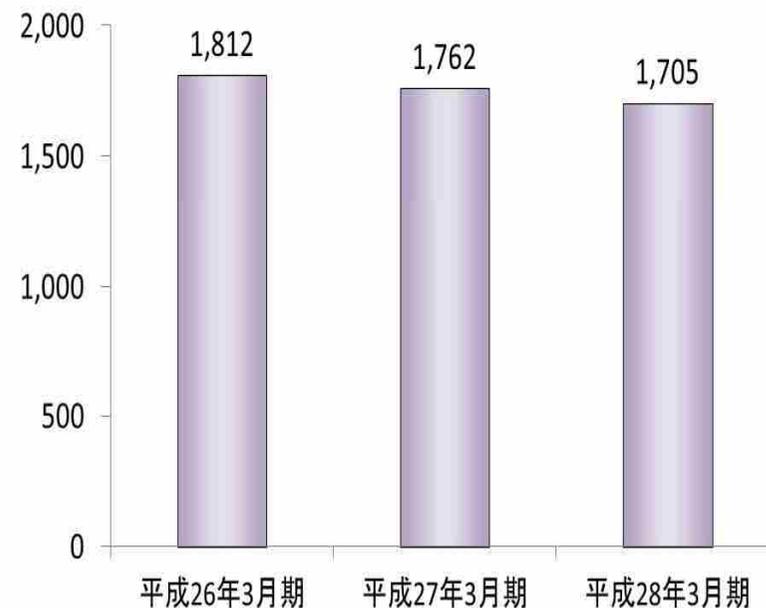


工業用内視鏡



輪郭形状測定器

(単位:百万円)



【増減理由】

老朽化設備に対する保安メンテナンス機器の販売や鉄鋼製品製造業向けに検査装置の販売が伸長しましたが、前年のような大型検査機器の案件が減少し、前期比3.3%減となりました。

産業機械

あらゆる生産設備・社会資本設備で活用される産業機械のソリューションを提供。

- ◆油・空圧機器
- ◆ポンプ・バルブ機器
- ◆道路維持機械
- ◆エネルギー関連設備
- ◆各種装置

取扱い商品一例

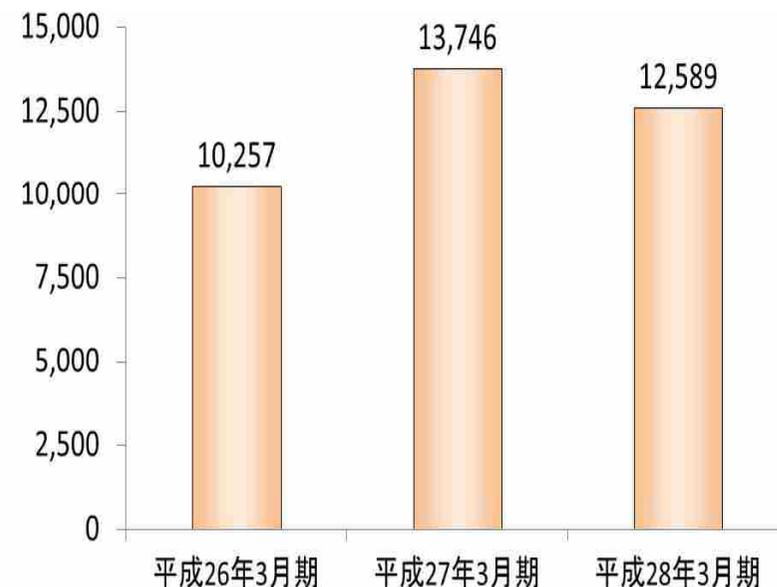


ポンプ



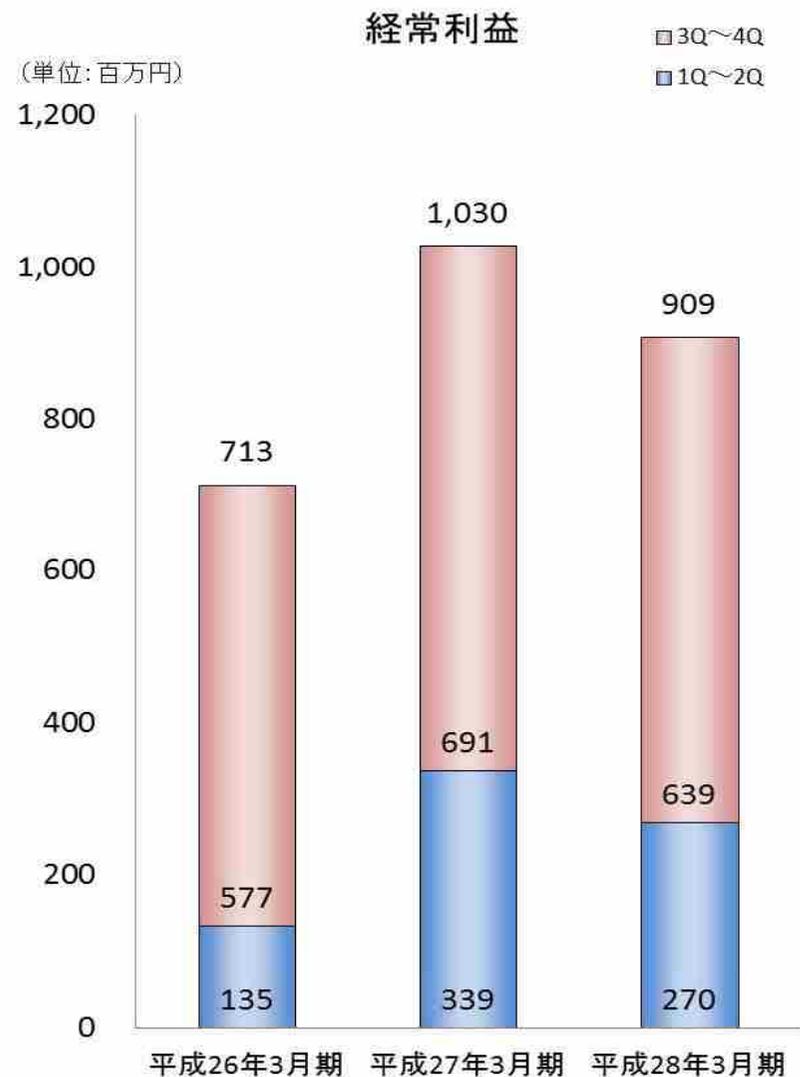
路面清掃車

(単位:百万円)

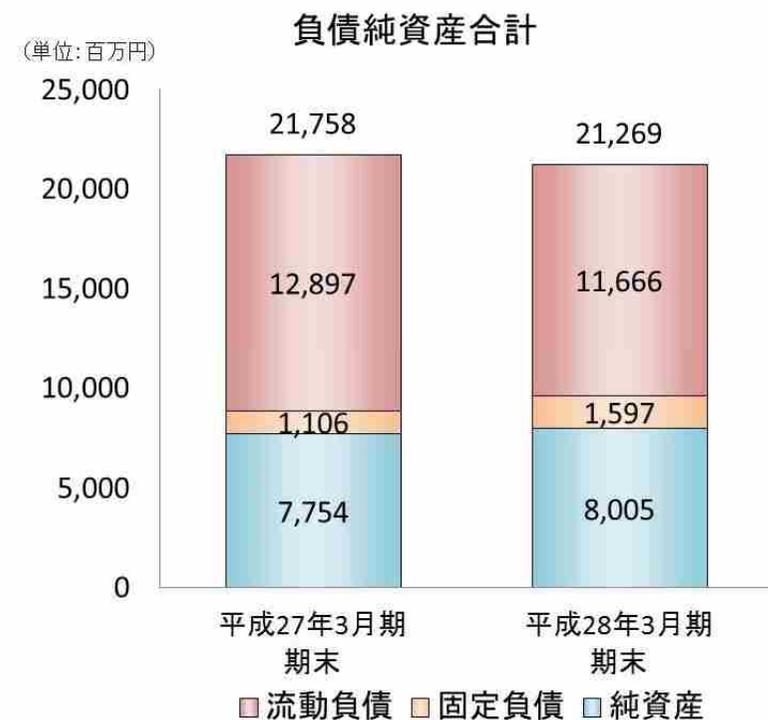
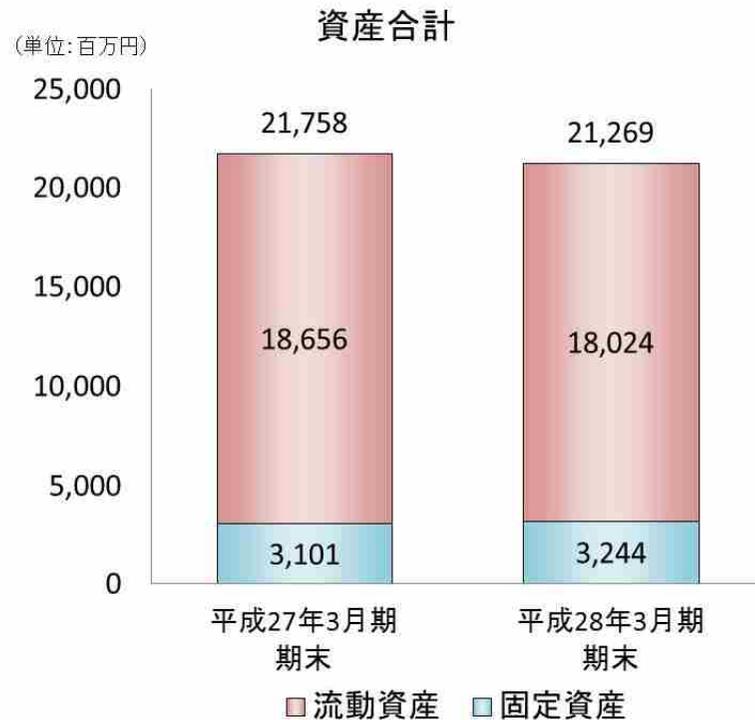


【増減理由】

建設業界向け路面清掃車の販売や高効率ポンプ・省エネ照明器具の販売が堅調に推移した他、非鉄金属業界向けに粉塵防止装置の販売が増加しましたが、前年度業績を牽引したメガソーラー関連付帯機器や災害対策用特殊車両の売上が大幅減少し、前期比8.4%減となりました。



※平成26年3月期第3四半期より、東武機器(株)の業績を連結取込みしております。

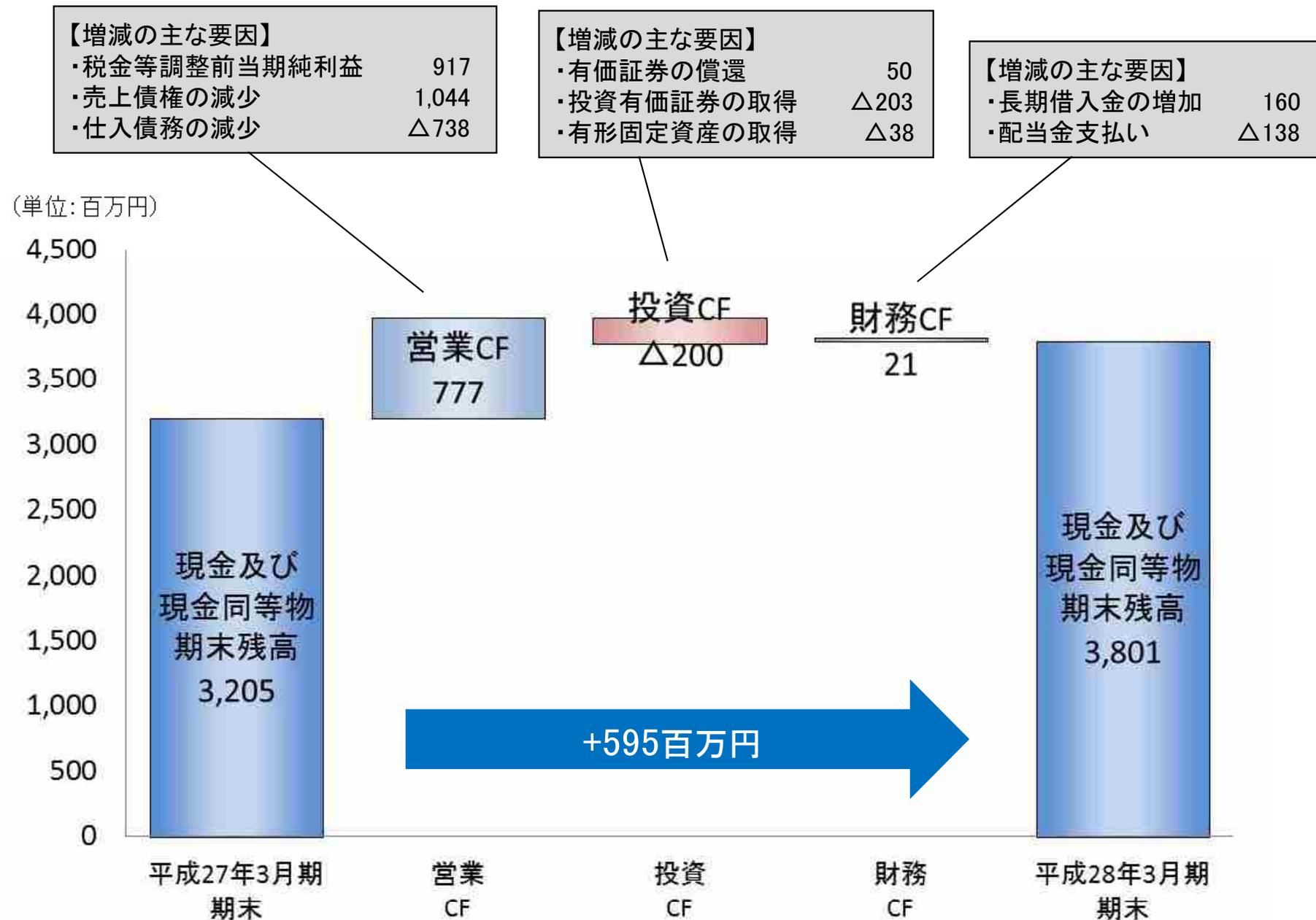


平成28年3月期 ハイライト(カッコ内は前期比)

資産	【増減の主な要因】
◆現金及び預金: 3,820(+614)	売掛債権の回収増加
◆受取手形及び売掛金: 13,368(△1,051)	売上高減少

負債・純資産	【増減の主な要因】
◆支払手形及び買掛金: 10,344(△743)	仕入高減少
◆未払法人税等: 200(△91)	
◆純資産: 8,005(+250)	当期純利益による増加

平成28年3月期自己資本比率:37.6%



平成29年3月期 連結計画

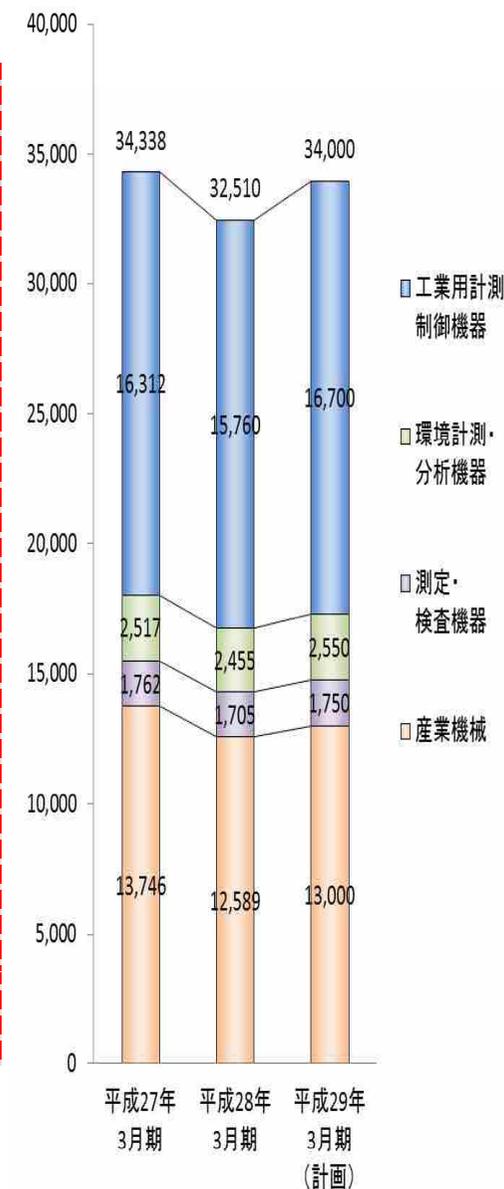
(単位:百万円)	平成28年 3月期	平成29年 3月期	前期比	
	実績	計画	増減額	増減率
売上高	32,510	34,000	+ 1,489	+ 4.6%
営業利益	900	1,030	+ 129	+ 14.4%
経常利益	909	1,030	+ 120	+ 13.3%
親会社株主に帰属する 当期純利益	520	660	+ 139	+ 26.8%
1株当たり利益(円)	82.25	104.28	+ 22.03	+ 26.8%

見通し

- 主要事業領域である国内市場は、原油価格や中国経済の動向等に左右され、先行き不透明な環境下ではありますが、政府の各種景気対策の効果により民間企業の設備投資意欲は改善すると見込んでおります。

(単位:百万円)

	平成27年3月期		平成28年3月期			平成29年3月期		
	実績	構成比	実績	構成比	前期比	計画	構成比	前期比
工業用計測制御機器	16,312	47.5%	15,760	48.5%	▲ 3.4%	16,700	49.1%	+ 6.0%
環境計測・分析機器	2,517	7.3%	2,455	7.6%	▲ 2.5%	2,550	7.5%	+ 3.8%
測定・検査機器	1,762	5.2%	1,705	5.2%	▲ 3.3%	1,750	5.2%	+ 2.6%
産業機械	13,746	40.0%	12,589	38.7%	▲ 8.4%	13,000	38.2%	+ 3.3%
合計	34,338	100.0%	32,510	100.0%	▲ 5.3%	34,000	100.0%	+ 4.6%



中期3カ年経営計画

- 平成28年度中期3カ年経営計画は、経済環境と平成28年3月期業績を元にローリング方式にて新たに策定しました。

平成28年度～平成30年度 経営基本方針

新たな成長への挑戦と 強靱な収益構造の確立

- ◆当社が保有する「人・モノ・金・情報・技術」等の経営資源を有効活用し、攻めと守りの姿勢を明確にした事業展開の推進により、新たな成長の実現に挑戦。
- ◆付加価値提案型営業を進化させ、顧客が希望する新たなサービス・役割を提供する事で強靱な収益構造の確立を目指す。

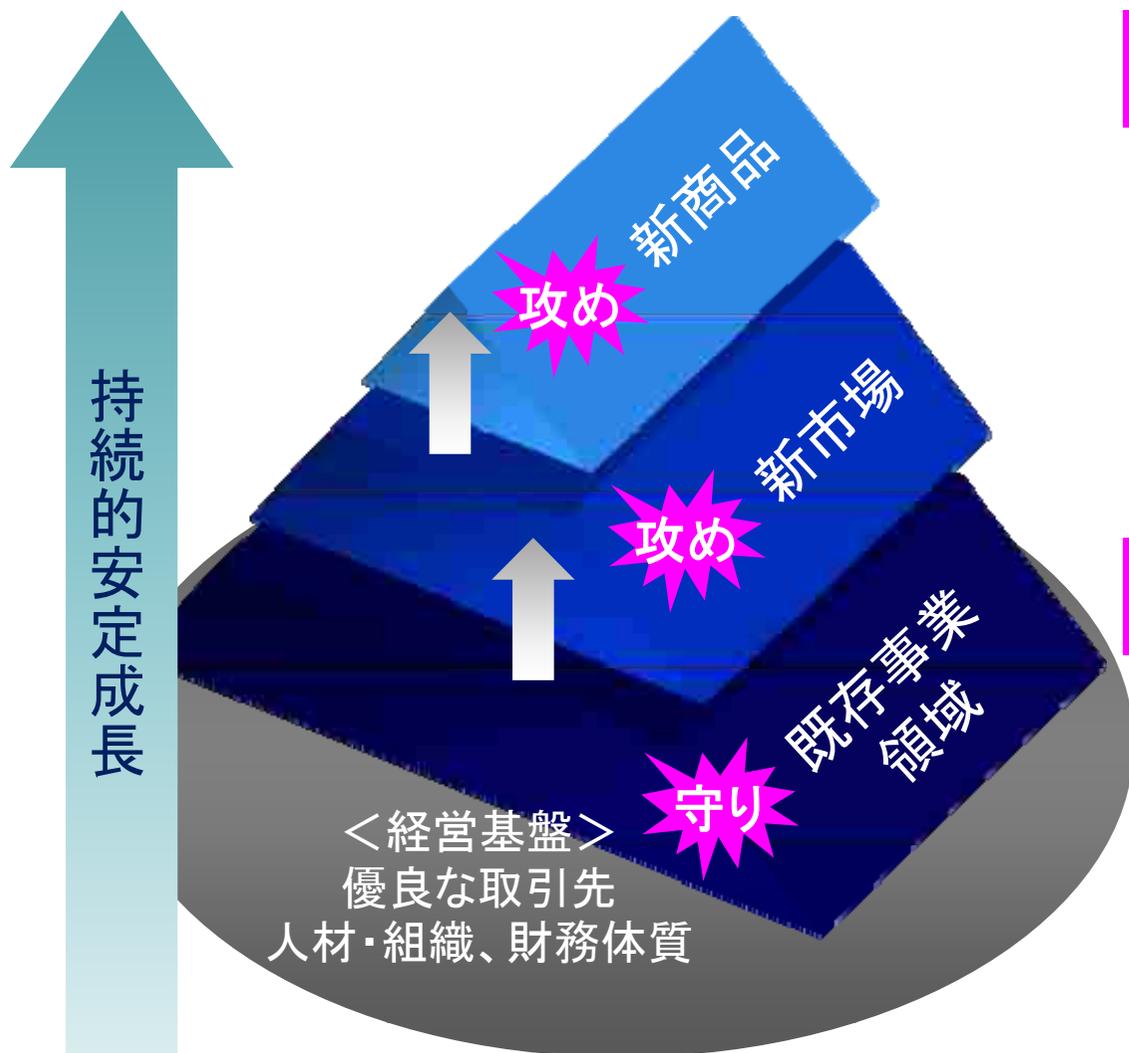
平成28年度 経営方針

現場力と総合力の強化

- ◆現場における社員一人一人が実行力・変革力・提案力・情報収集力等の力量を強化。
- ◆組織としてベクトルを統一し、結束を高め施策を貫徹する総合力を強化。
- ◆新規事業・市場に迅速かつ積極的な展開を推進し、次世代を見据えた人材の育成とビジネス創造への挑戦。

重点営業戦略

顧客密着営業・ソリューション営業の強化



攻め

【新市場・新商品】

社会インフラ・新エネルギー関連等の新市場への取り組みとFAシステムや新商材の発掘により、更なる拡大を図る。



守り

【既存事業領域】

製造現場での労働生産性向上への取り組み、エンジニアリング機能強化によるワンストップ提案営業の推進、「環境・安心・安全・品質」をキーワードとした商品の拡販により収益力向上を図る。

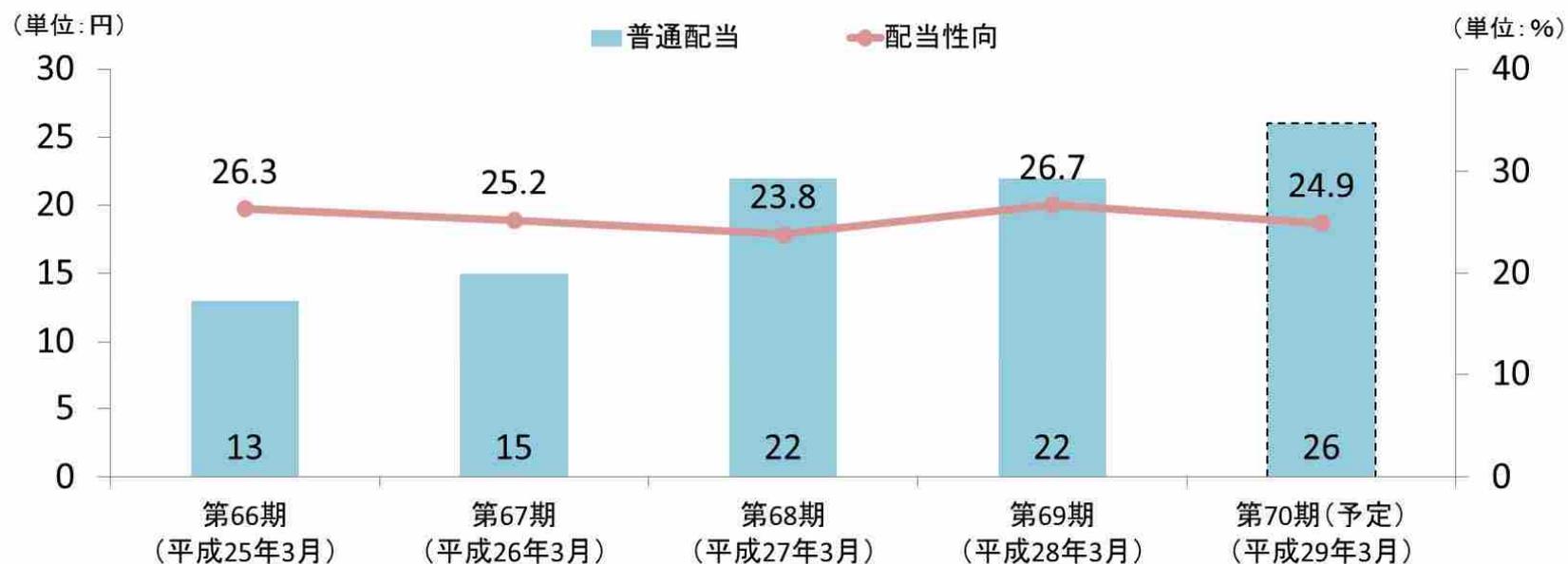


	H25/03	H26/03	H27/03	H28/03	H29/03	H30/03	H31/03
ROE (株主資本利益率)	4.6%	5.4%	7.8%	6.6%	目標: 8.0%		

【配当政策】

配当額：1株につき年10円を最低限維持 ・ 配当性向：30%を目標

	第66期 (平成25年3月)	第67期 (平成26年3月)	第68期 (平成27年3月)	第69期 (平成28年3月)	第70期(予定) (平成29年3月)
普通配当	13円	15円	22円	22円	26円
配当性向	26.3%	25.2%	23.8%	26.7%	24.9%



営業施策 注力商品

◆FA・環境制御システム、 情報通信・ネットワーク機器

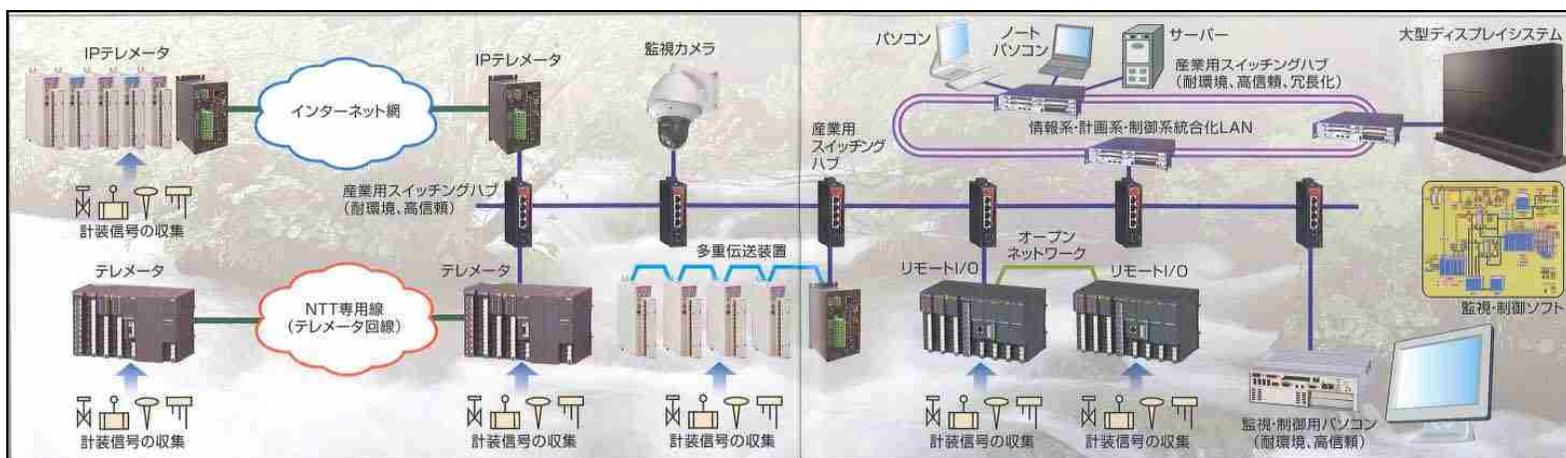
- 測定、通信・監視、受信・表示、通報、制御機器等幅広い取扱い商品群
- ネットワークシステムの構築も対応
- 機器、据付、工事含めワンストップで提供
- IoT化への対応

◇目的

- ・コンピューターを導入し自動化することで、省力化や省人化を実現
- ・工場の設備や機器を統合的に管理
- ・効率性や確実性の向上
- ・進捗管理や問題解析が容易
- ・工場排水、上下水道設備を遠隔で監視

イメージ図

※当社オリジナル
カタログ抜粋



◆オイル清浄度管理機器他、 保安メンテナンス機器

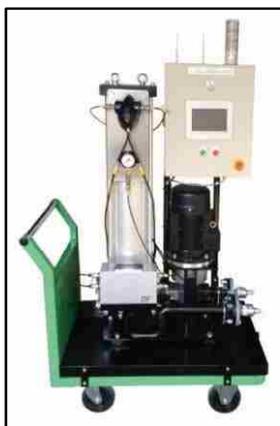
- 機械や製品の品質維持に貢献
- 日々の点検と保安対策に貢献
- 機器の点検・修理・校正まで、
ワンストップで対応

◇目的

- ・既存設備の維持・延命・低コスト化
- ・既存設備の安定運転維持・管理
- ・事故防止
- ・機器購入コストの削減
- ・作動油や潤滑油の清浄度管理

取扱い商品

※当社オリジナル
カタログ抜粋



ハイスペック・
ハイフローフィルタ



オイル分析装置



超音波厚さ計



工業用内視鏡

◆防災・復旧対策、環境対策機器

- 特殊車両で災害対策、防災対策に貢献
- 安全衛生、環境対策機器を提供
- 機器、据付、工事含めワンストップで提供

◇目的

- ・災害時の飲料水輸送をはじめ干ばつ等の水不足対策
- ・工場の構内、一般道、高速道路等の道路清掃
- ・労働環境、工場、下水処理場の雰囲気改善（粉塵防止、脱臭）

取扱い商品

※当社オリジナル
カタログ抜粋

路面清掃車



給水車



粉塵防止システム



気化脱臭装置

◆水質・分析・省エネ関連機器

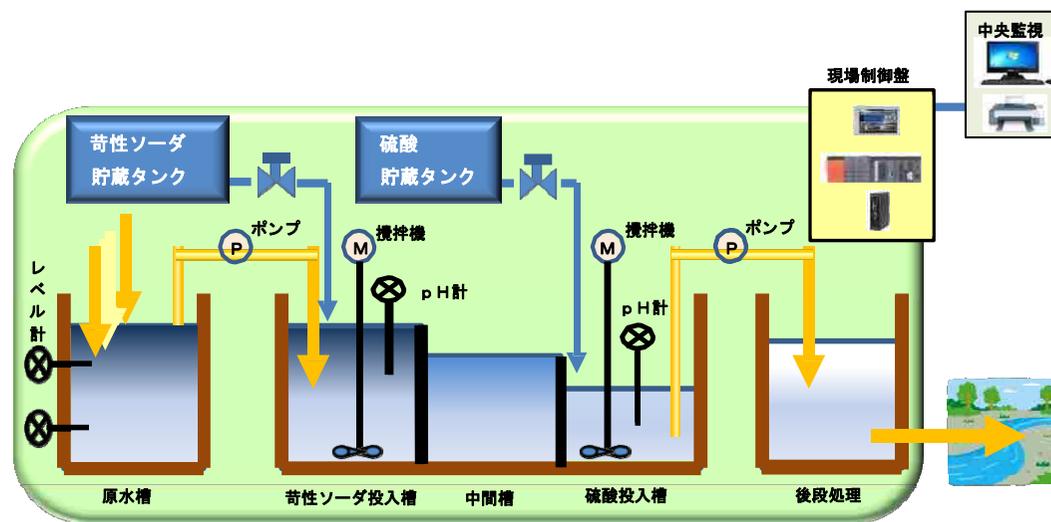
- 省力化と低コストで安全・安心な水質管理に貢献
- 自動制御システムの構築も対応

◇目的

- ・監視による排水処理の負荷軽減、適正化
- ・水質汚濁事故の未然防止
- ・水質総量規制等の法規制への対応
- ・省エネや廃棄物削減

取扱い商品

※当社オリジナル
カタログ抜粋



ゲート遠隔監視システム

分水ゲート



導水幹線水路を流れてさらに下流の各方面に分水します。
20Kmも離れた農地に水を運びます。

取水塔



貯水された農業用水は、必要に応じて受益農地へ導水幹線水路を経て送水されます。

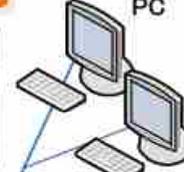
左の樋門は遠隔で操作することができます。

頭首工



頭首工で取水された用水は集水路を経由し貯水されます。

遠隔操作用PC



カメラ用

監視画面



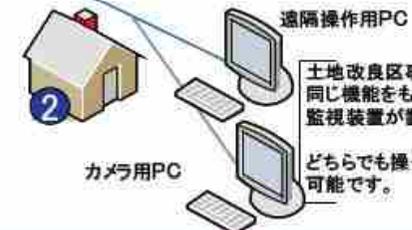
各ゲートの状況はリアルタイムでパソコンに表示されます。現在のゲートの開閉状態や、水位、故障の有無が確認できます。

カメラ監視

監視対象	
遠隔ゲート	12箇所
カメラ	16箇所

災害時や、緊急時に頭首工や分水ゲートへ作業員が出かけていき、ゲート操作していましたが現在は最新の遠隔監視技術を使用し、事務所にいながら遠方のゲートの監視、操作を行うことができます。

管理事務所



遠隔操作用PC

土地改良区事務所と同様に同じ機能をもった監視装置が置かれています。

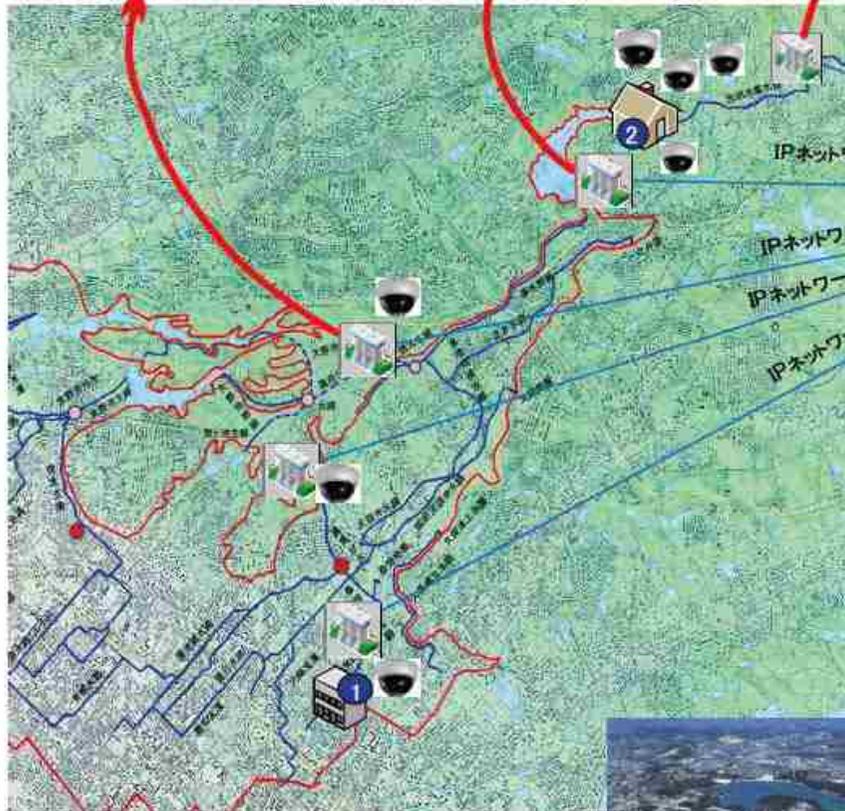
カメラ用PC

どちらでも操作、監視が可能です。

インターネットを介さない閉域のIPネットワーク上で、特定の拠点のみと接続できるので、高セキュリティなネットワーク環境です。

土地改良区事務所

IPネットワーク網 (光回線)



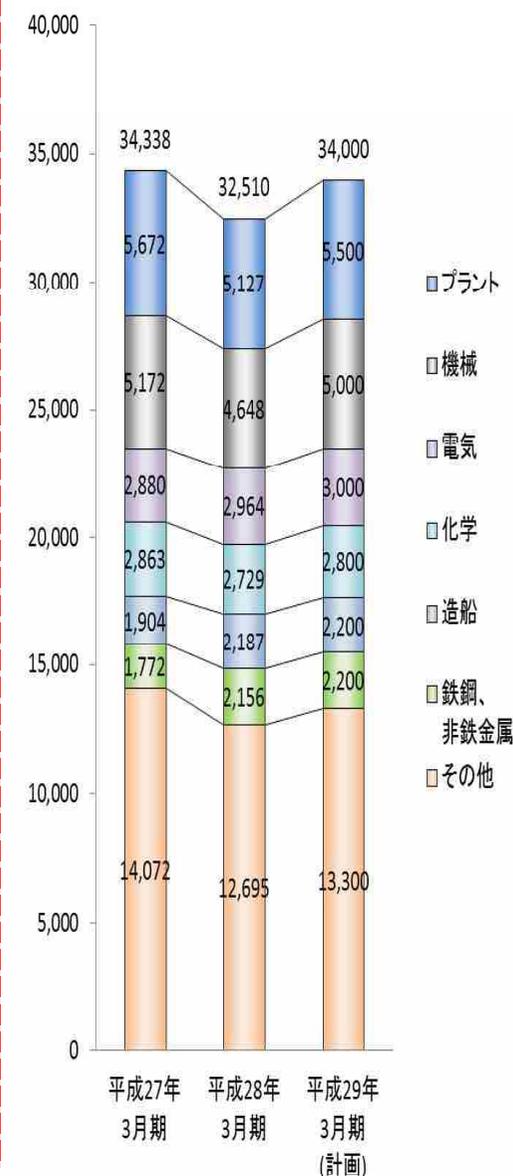
土地改良区全体図



- 農業用水の供給
毎年6月から9月のかんがい期間において、頭首工から河川水を取り込み、集水路を経て、導水幹線水路等により農業用水を末端の農地まで供給しています。
- 施設の維持管理
農業用水を安定に供給できるように、ため池や水路の巡視、点検、草刈り、清掃などの維持管理作業を行っています。また、必要に応じて施設の補修も行います。
- 施設操作の省力化・自動化
水門などの施設を容易に操作できるように、巻上機の電動化などを進めています。また、水流を利用した自動除塵機や、事務所にいながら水位を監視したり、水門の操作ができる遠隔監視・遠隔操作装置を導入しています。

参考資料

(単位: 百万円)	平成27年3月期		平成28年3月期			平成29年3月期		
	実績	構成比	実績	構成比	前期比	計画	構成比	前期比
プラント	5,672	16.5%	5,127	15.8%	▲ 9.6%	5,500	16.2%	+ 7.3%
機械	5,172	15.1%	4,648	14.3%	▲ 10.1%	5,000	14.7%	+ 7.6%
電気	2,880	8.4%	2,964	9.1%	+ 2.9%	3,000	8.8%	+ 1.2%
化学	2,863	8.3%	2,729	8.4%	▲ 4.7%	2,800	8.2%	+ 2.6%
造船	1,904	5.5%	2,187	6.7%	+ 14.9%	2,200	6.5%	+ 0.6%
鉄鋼・ 非鉄金属	1,772	5.2%	2,156	6.6%	+ 21.7%	2,200	6.5%	+ 2.0%
その他	14,072	41.0%	12,695	39.1%	▲ 9.8%	13,300	39.1%	+ 4.8%
合計	34,338	100.0%	32,510	100.0%	▲ 5.3%	34,000	100.0%	+ 4.6%





- 本社:大阪、東京
- その他営業拠点:33カ所
- 当社子会社:双葉テック(株)、東武機器(株)(仙台本社、山形、岩手)
英和双合儀器商貿(上海)有限公司

産業技術の基本となる計測制御技術を安全性・信頼性で支えます。

研究開発や製品の検査を様々な品質でサポートします。

生産現場で“はかる”

品質を“はかる”

4分野、計1万点を越える

EIWAの取り扱い商品。

環境を“はかる”

産業と環境を“つなぐ”

【地球環境保全】を重点テーマに環境改善対策に貢献します。

環境との調和に貢献する産業機械のソリューションを提供します。

本資料に関するお問い合わせ先



経営企画部

TEL: 06-6539-4816

E-Mail: ir-info@eiwa-net.co.jp

URL: <http://www.eiwa-net.co.jp>

(注)この決算説明資料に記載されている売上高及び利益等の計画金額は、いずれも当社グループ会社の事業に関連する業界の動向についての見通しを含む国内及び諸外国の経済状況、並びに各種通貨間の為替レートの変動その他の業績に影響を与える要因についての現時点での入手可能な情報をもとにした見通しを前提としています。これらは、市況、競合状況、新規取扱商品の導入及びその成否等、多くの不確実な要因の影響を受ける為、実際の売上高及び利益等は、この資料に記載されている計画とは大きく異なる場合があります。本情報及び資料の利用は、利用者の判断によって行って下さいますようお願いいたします。本資料利用の結果生じたいかなる損害についても、当社は一切責任を負いません。